

開所時間 かいしよじかん

■朝9:00～夕方5:00（入所は4:30まで）

休所日 きゅうしよび

- 毎週月曜日
- 国民の祝日（こどもの日、文化の日をのぞく）
- 年末年始（12月28日～1月4日）
- 慰霊の日（6月23日）

※祝日と月曜日がかさなったときは翌火曜日も休所
その他臨時休所あり

入所料 にゅうしよりょう

■無料

交通 こうつう

- 沖縄自動車道西原I.Cより車7分
- 市外線那覇バスターミナル発97番
「琉大附属病院前」下車徒歩1分

団体見学 だんたいけんがく

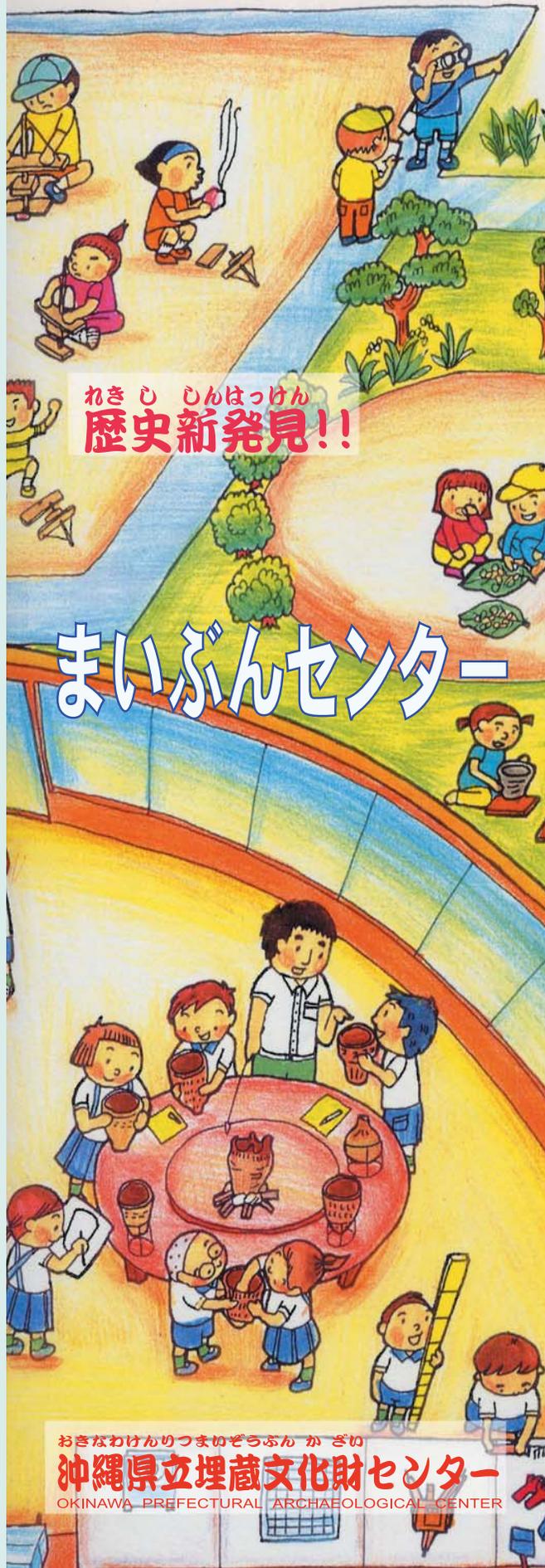
■1週間前までにお申込みいただければ、当日職員による案内が可能となります。

お問い合わせ 沖縄県立埋蔵文化財センター

- 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193-7
- TEL 098-835-8751 FAX 098-835-8754
- <http://www.maizou-okinawa.gr.jp/>



★見学記念スタンプ★



れきし れきし じんはっけん じんはっけん
歴史新発見!!

まいぶんセンター

おきなわけかりつまぢぞらふん おきなわけかりつまぢぞらふん **かざぬ**
沖縄県立埋蔵文化財センター
OKINAWA PREFECTURAL ARCHAEOLOGICAL CENTER



みなとがわじん みなとがわじん とうこつ とうこつ
港川人の頭骨（レプリカ）
（約1万8千年前：港川フィッシャー遺跡）

はっけん はっけん 発見!
たんけん たんけん 探検!
う う 埋もれていた
れきし れきし まな まな 歴史を学ぼう!



ヤコウガイ製 ヤコウガイ製 さじ さじ
（約1600年前）

はるか昔から現代まで、人々は地球上の
うや国をつくり、さまざまな歴史を歩ん
でつ集団や民族と、その文化が生まれてき
の記録だけでなく、地下などに埋もれてい
ることができます。

沖縄県立埋蔵文化財センターでは、県内
のこのような遺跡を発掘し、出土品を整
理・保管し、その研究の成果を展示してい

あちらこちらで日々の暮らしを営み、ム
きました。そして、各地に多様な個性を
ました。このような歴史と文化は、文字
の遺跡・出土品（遺物）からも知ること
ができます。

このような遺跡を発掘し、出土品を整
理・保管し、その研究の成果を展示してい



かつゆうとう かつゆうとう じ じ き き
褐釉陶磁器
（14世紀～16世紀：首里城京の内跡）



しもたばるし しもたばるし き き ど ど き き
下田原式土器
（約3500年前：下田原貝塚）



シャコガイ製 シャコガイ製 オノ オノ
（約2500年前：長間底遺跡）



おもなわ おもなわ ぜんてい ぜんてい しい しい き き ど ど き き
面縄前庭式土器
（約4000年前）

しゅり しゅり じょう じょう きょう きょう の の うち うち 跡 跡 の の しゅ しゅ つ つ と と ひん ひん
首里城京の内跡の出土品
（国指定重要文化財）

こう こう こ こ がく がく 考古学

昔の人たちが残した貝塚などの遺跡を発掘調査して
遺構や出土品などを調査・研究することによって、当時
の歴史を明らかにしていくことを考古学といいます。

まい まい ぞう ぞう ぶん ぶん か か ざい ざい 埋蔵文化財

地中などに埋もれている文化財のことです。昔の人た
ちが生活をして残した貝塚やグスクなどの遺跡のことです。

はっ はっ くつ くつ 発掘

遺跡を掘り出すことを発掘といいます。発掘は注意深く
行なわなければなりません。なぜなら、遺跡は一度掘ると、
二度と掘り直すことができないからです。

い い せき せき 遺跡

昔の人々の生活や活動の跡が残されている場所を遺跡
といいます。古い時代の遺跡は地中など目に見えない形
で眠っていることが多く、掘り出したりしてその場所をく
わしく調べることが必要になります。

い い こ こ 遺構

遺跡の中にある住居や倉庫、みぞの跡などを遺構とい
います。

しゅ しゅ つ つ と と ひん ひん 出土品

遺跡から出てきた古い時代の人々が加工した道具類や
貝殻、骨などを出土品（遺物）といいます。

リュウキュウシカ化石
（1万年以上前）

歴史を肌で感じ取ろう!

おきなわ けん りつ まい ぶん かい せい
 沖縄県立埋蔵文化財センターは、沖縄県内の発掘調査でみつかったたくさんの出土品を整理・保管しています。そして、沖縄の歴史を語る多くのものと、それらをわかりやすく説明したパネルなどを展示して、みなさんの歴史学習に役立てるようにしたり、体験学習に利用することができます。

さぎょうしつ
作業室 いくつかの部屋があり、出土品の整理・復元をしています。



しゅうぞう こ
収蔵庫 発掘調査でみつかった出土品を保管しています。



き かくてんじしつ
企画展示室
 テーマを決めて展示を行います。



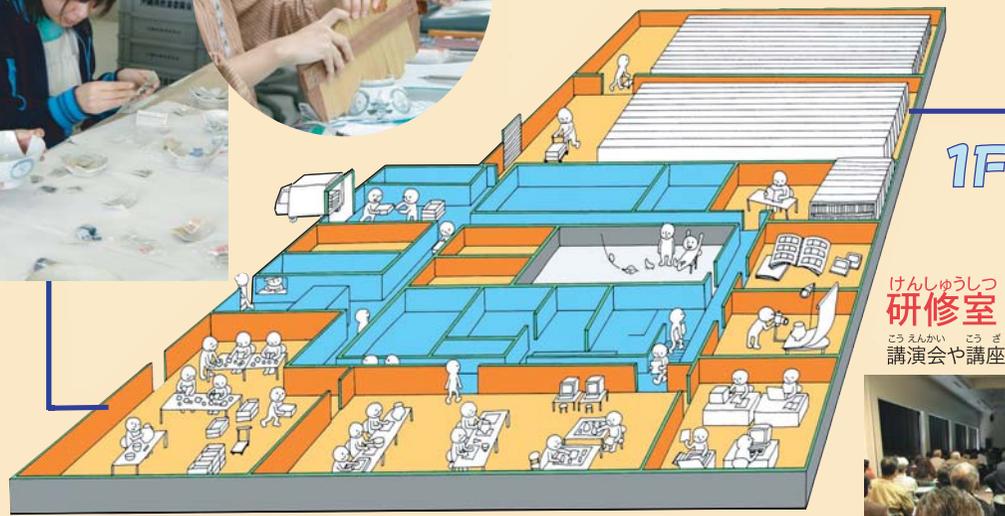
じょうせつてんじしつ
常設展示室
 9つのテーマ展示やジオラマを使って、沖縄の歴史を紹介しています。



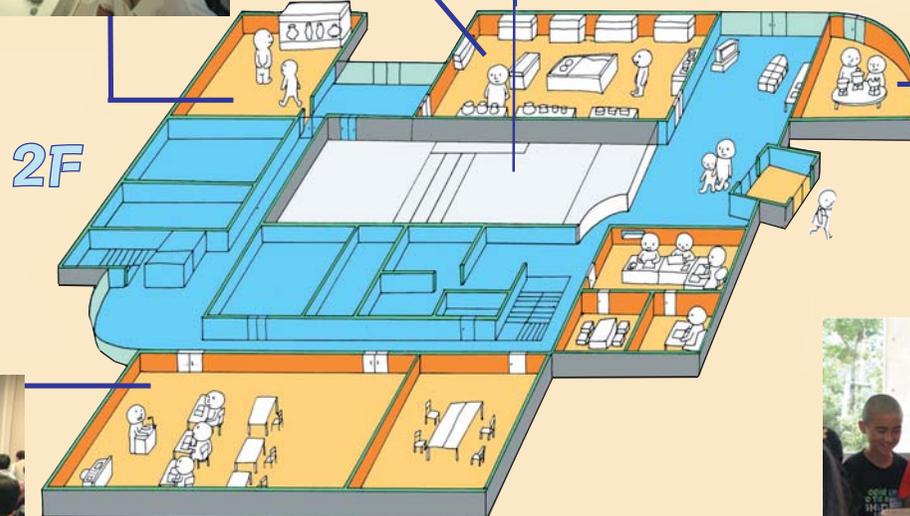
てんぼうしつ
展望室



おくがい し せつ
屋外施設
 古代の森やイベント広場で体験学習を行うことができます。



けんしゅうしつ
研修室
 講演会や講座などを行います。



たいけんがくしゅうしつ
体験学習室 土器(複製)を
 実際に手にとって学習できます。



まいぶんセンターの仕事は、大きく分けて3つあります。

1つ、遺跡の発掘調査をして報告書をつくること。

はくつ
①発掘

遺跡を掘ってみつかった出土品は、小さなかけらまでいねいに取り出します。遺跡のようすもこまかく記録します。



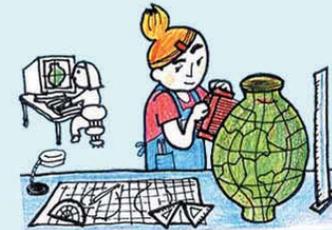
みずあらい
②水洗い、ナンバーリング

センターに運ばれた出土品を、きれいに水洗いします。かわかした後、掘り出された場所や深さをひとつひとつのかけらに小さく書き込みます。



せつごう ふくげん
③接合、復元

しゅるいや色などを手がかりにかけらをくっつけて元の形にもどします。かけらが足りないところは石膏で作り、形を整えます。



じつそく
④実測

出土品の大きさや形、もようなどを正確にはかって、よく観察しながら実物大の図面を描きます。

ほうこくしょ
⑤報告書にまとめる

図面やこれまでの調査の記録などをもとに、その遺跡の報告書をつくります。



かんせい
完成!!

